



第19回全国学校給食甲子園決勝大会

優秀賞

熊本県 錦町学校給食センター

栄養教諭・富永明希江さん
調理員・垣下美千代さん

献立

粟入り赤飯 牛乳 さばの塩こうじ焼き
き 切干し大根の梨酢和え つぼん汁
冷凍河内みかん



球磨郡 PTA 第2号
2025.3.1

球磨郡PTA
連絡協議会
〒868-0408
あさぎり町免田
東1774
あさぎり町生涯
学習センター内
kumagun.pta
@gmail.com

令和6年12月8日
(日曜日)、女子栄養大学
(東京都)において、第19回
学校給食甲子園決勝大会
が行われました。

この大会は全国の学校給食で提供されている料理を競う大会を通じ、食育を啓発することと地産地消の奨励を目的としています。

第19回となる今年度の応募献立のテーマは、「食育を創るわが校の学校給食」。

錦町学校給食センターの栄養教諭 富永明希江さん、主任調理員 垣下美千代さんのお二人が、応募総数1,051件の中から県代表、九州ブロック代表として決勝大会に進み、全国の12代表の一つに選ばれました。

決勝大会では「全国学校給食甲子園優秀賞」「食育授業優秀賞」「調理員特別賞」の三賞を受賞されました。お二人とも、おめでとう



全国学校給食甲子園®とは

全国の学校給食では、地域でとれるさまざまな地場産物を食材として利用した献立が出されています。学校給食は、食の文化、子どもの健康を守り育てる食育の現場であり、食の地域ブランドにも密接に関わっています。

本大会は全国の学校給食で提供されている献立を競う大会を通じ、食育を啓発しながら地産地消の奨励を目的としています。同時にこの活動を通じて地域の活性化につながることに貢献したいと考えています。

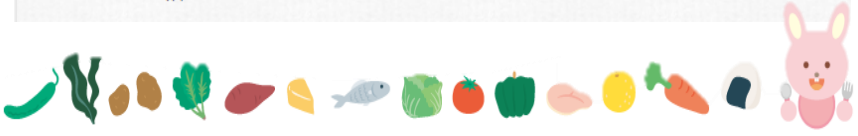
また本大会が食育推進に役立つとともに、給食に携わる栄養教諭、学校栄養職員、調理員の励みになり、子供たちや学校の教職員全体に生きがいや活力を与える大会にしたいと考えています。

成長過程にある児童生徒の健全な食生活と健康を考えながら、本大会を通じて多くの方々に学校給食の重要な役割を知っていただく機会にしたいと思います。

大会ホームページにある
応援ページでは、錦中学校の生徒さんからの応援メッセージも掲載されています。

ごさいます。これからも地域の子どもたちのために、さらなる活躍を期待してまいります！

大会ホームページはこちら
→<https://kyusyoku-kosien.net/>
応援ページはこちら
→<https://kyusyoku-kosien.net/2024finaldetailkumamoto/>



学校紹介

広報球磨郡PTAでは 毎回各学校の紹介をしていきます。初回は令和5年度、6年度に新しく開校した義務教育学校のご紹介です。

- ①校訓/PTAのスローガン ②児童生徒数
- ③教職員数 ④校長先生 ⑤PTA会長

をお聞きしています。



球磨村立 球磨清流学園



球磨清流学園外観

- ① 自立・創造・敬愛
「清流から大海へ!」
- ② 157名 ③ 60名
- ④ 村山 茂 校長先生
- ⑤ 氏川 マヤ 会長



学校のHPIはこちらから!

<https://es.higo.ed.jp/kumaseiryu/>

梅のつぼみが膨らみ、春の訪れが待ち遠しい。今日この頃ですが、皆様におかれましてはご健勝のこととお慶び申し上げます。球磨清流学園PTA会長氏川と申します。球磨清流学園の学校紹介をさせて頂けるとのことで光栄に思います。

球磨清流学園は渡小、球磨中学校の3校が統合し令和6年4月1日開校しました。全校生徒157名のこじんまりとした学園ですが、1年生から9年生までの子どもたちは皆、元気いっぱい、仲良く笑顔にあふれています。球磨村は豊かな自然に恵まれており、その中で子どもたちが伸び伸びと育つことができます。

「3つのわ(和・輪・話) 仲よくしよう」という合言葉に、「チーム球磨」として頑張っています。私たちPTAも子どもたちが安

全で楽しく学校生活を送れるようにと、年2回の親子美化作業、12月の門松作り等活動を行っています。子どもたちのために活動を行うていく上で役員の選出も大事になってくるかと思えますが、選考委員の負担をなくし保護者の代表であることを目指し、本部役員の選出も学年で固定しています。

毎年メンバーが変わることでのデメリットはありますが、それ以上に子どもたちのことに関わる機会が増えるメリットの方が大きいのではないかと考えています。

現在、会員数の減少によるPTAを廃止する自治体もありますが、学校と保護者、地域の方とのコミュニ

ケーションツールとしてもPTA活動は大事なのではないのでしょうか。今後とも会員皆様と一緒にPTA活動を盛り上げていけたらと思います。最後に子どもたちの豊かな未来と笑顔のためにご支援とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。



門松づくり



水上村立 水上学園

- ① 自立 創造 協調
- ② 142名 ③ 39名
- ④ 東 篤哉 校長先生
- ⑤ 西 祐一 会長



学校のHPはこちらから!

<https://es.higo.ed.jp/mizukami/>



水上学園外観



全校レクリエーションの様子

本校「水上学園」は、今年度から義務教育学校施設一体型となり、1年生から9年生までの142名が同じ校舎で学びをスタートしました。1年生から4年生までが第1ステージ、5年生から7年生までが第2ステージ、8年生・9年生が第3ステージのステージ制を導入して取組を進めています。

施設一体型になったことで、1年生から9年生までの児童生徒を縦割りの班に編成し、様々な活動を行ってきました。

前期課程（1年生から6年生）が中心となる活動ですが、PTAや地域の方が指導者となり、昔遊びや体験活動を行います。今年度も10の活動を計画し、実施しました。活動後

人権集会を縦割り班で話し合い活動を行ったり、児童生徒会が中心となって全校レクリエーションに取り組んだり、施設一体型ならではの活動を実施してきました。また、PTAや地域と連携した活動にも力を入れて取り組んでいます。

特に大きなイベントとして、「水上っ子タイムトンネル」があります。

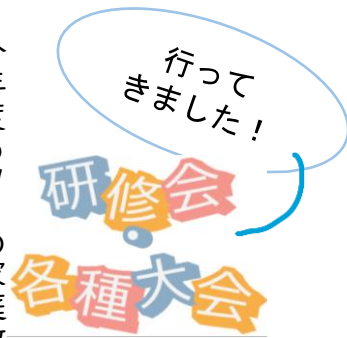


水上っ子タイムトンネル

市房登山宿泊学習



はJA青壮年部や女性部、PTAの方々が「おにぎりと豚汁」をつくり、「おにぎり給食」まで実施することができました。50名程のPTAや地域の方々にご協力いただきました。それ以外にも、地域の民宿に宿泊して、市房登山を行う5年生の「宿泊学習」や地域の事業所での7年生の「農作業体験」、8年生の「職場体験」など、地域に根ざした教育活動を展開しています。



今年度も9月の家庭教育研修会を皮切りに
 ・家庭教育研修会
 ・校長会長研修会
 ・県P大会阿蘇大会
 ・九P大会長崎大会
 ・日P大会川崎大会
 等、各種研修会、研究大会が行われています。参加された皆さんに会場の様子、研修会の内容など、お尋ねしてみました。

家庭教育研修会

10月2日熊本県総合福祉センターにて県P家庭部会研修会が行われました。講師にすみれ助産院の院長、赤木夏代氏を迎え、「思春期の子供の理解と接し方」について講演いただきました。また、県の社会教育課家庭教育支援班より工木圭吾郎氏をお迎えし、くまもと「親の学

び」プログラムを活用した協議を行いました。

「思春期の子供の理解と接し方」について

恥ずかしいという感情は1歳以前、言葉が発する前に始まり、健全な恥ずかしい感覚は、社会規範に照らして「間違った行動をとったとき」それを修正してくれる。不健全な恥ずかしい感覚は、周りに人がいるところで失敗して過剰に恥ずかしい思いをしたり叱られたりしたときに生じるという話があり、そんなに早い段階で恥ずかしいという感情があることを知り、自分の子どもとの接し方も考えないといけないと思えました。また、心と身体は密接な関係があり、人間関係は思春期にとって、大きな要因となると説明があり、めまぐるしい脳の変化・発達により、自分の意見がコロコロ変わったり、不適切な行動や感情が表に出やすくなることから、親子の接し方について、やたらと手や口を出さない↓子どもを

コントロールしない、子どもには失敗から学ぶ権利がある↓権利を奪わない、子どもが助けを求めたら、共感的理解をもって対応することが大切との説明があり、日頃から対話を大切にしようと思えました。



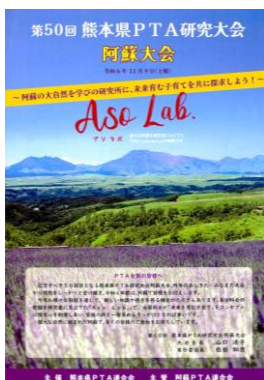
「未来を担う子供たちのために」ワークショップ

最初に、簡単な自己紹介を1人1分程度で行い、次に、家庭教育について説明があり、悩みや不安を感じている保護者が約70%で、内容は子どもへの気持ちや行動がわからない、しつけの仕方がわからない、子どもの生活習慣の乱れ、健康や発達についての悩みや不安、経済的な不安が主な内容であり、家庭教育支援について、関心がある保護者は65%に至るとの説明がありました。次に、社会教育課の取り組みについて、親の学び講座を進めていて、参加者の

声は、もっと早く、この講座を受けたかった。子どものことについてたくさん話したり、聞いたりでき良かった。との好評の声をいただいた。とのことでした。実際にサイコロトークを行い、いろんな地域の方の話が聞けて良かった。その後、フリートークを行い、時間が足りないくらい、たくさんのお話が聞けて良かった。最後は一生のうち、親子が一緒に過ごせる時間はどのくらいという問いかけがあり、父：3年4か月、母：7年6か月とのこと。子育てを楽しみながら、無理せず、できることからやってみようと思えました。

(郡P家庭部代表理事 田端 忠)

県P阿蘇大会



11月9日に行われた県P

阿蘇大会ではAsoLab(阿蘇の大自然を学びの研究所に、未来育む子育てを共に探求しよう)のテーマの下、3つの会場に分かれて研究大会が行われました。



第一分科会

西原村総合体育館

記念講演

県P阿蘇大会は熊本県PTA研究阿蘇大会の西原村の会場に行き、北里柴三郎氏のひ孫にあたる北里英郎氏の講演を聞くことができました。北里柴三郎氏は生前「医者使命は病気を予防することにある」と予防医学

を志し医学と細菌学に努力を惜しまず、日々たゆまぬ研究を重ねられたことよって今現在、私達が何の病気にかかっているのか、どんな対処をすればいいのか。医学細菌学の発達があり、現在の私達が普段を安心して生活出来ていることをひしひしと痛感しました。医学の父、北里柴三郎氏がこの熊本出身ということも誇りに思いました。貴重な講演を聞いて本当に良かったです。(球磨清流学園副会長 上部 忠成)

また、この会場では「繋げたい！子どもたちのために」を演題としてソロアーティスト、音楽健康指導士のそがみまこ氏の講演も行われました。

第2分科会

阿蘇中学校体育館



第2分科会では、講演1として「人生を好転させる“新・陽転思考”」を著述家であり実業家でもあるFM F U J I「W A D A C A F E」パーソナリティの和田裕美氏が講演されました。講演2は中江神楽保存会波野子供神楽クラブによる「地域が繋ぐ伝統芸能」〜神楽男子の誕生〜が行われています。



第3分科会

高森中学校体育館

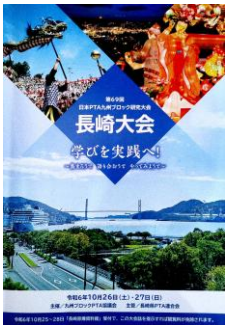
何かと話題の多い高森町。第3分科会の会場では講演1に(株)熊本コアミックス代表取締役、O96K

熊本歌劇団責任者の持田修一氏による講演「コアミックスが目指すエンタメ業界と連携したまちづくり」が、



講演2に「将来の子供たちに誇れる高森町へ!」と誇りと夢と元気を生み出す教育によるまちづくり〜と題して高森町教育委員会審議員兼教育CIO補佐官の石井佑介氏の講演が行われました。

九P長崎大会



10月26日、27日に長崎市にある出島メッセ長崎にて日本PTA九州ブロック研究大会長崎大会が行われました。学びを実践へ!〜集まろうで語り合おうでやってみようでのテーマの下、6つの分科会に分かれての研修が行われました。



また、今大会では球磨郡PTA連絡協議会前副会長の福島伸也氏がこれまでの功績を讃えられ、個人表彰されています。福島さんおめでとうございます。そして、長年PTA活動に貢献いただきありがとうございました。

第2分科会 家庭教育【学び】

第2分科会では、「楽しみながらも為になる親の学びを進めるPTA活動」を①子供の個性を伸ばす家庭環境の在り方、②家庭を支援し、子どもと共に保護者も成長するPTA活動の在り方の2つの視点から討議しました。

第3分科会 人権教育【多様性】

第3分科会では、「多様性(個性)を意識し、違いを認め合うことで自尊感情を高めるPTA活動」を討議しました。①子供たちの多様性(個性)を尊重するPTA活動の在り方、②保護者の多様性(個性)を尊重するPTA活動の在り方の2つの視点から考えを深めました。

第1分科会 組織・運営【未来】

第1分科会では「討議課題に、時代の変化に応じた持続可能なPTA活動」を

第4分科会 教育環境【共働】

第4分科会では「家庭・学校・地域が共働して教育環境を整えるPTA活動」を①協働して「学校」の教育環境を整えるPTA活動の在り方、②協働して「地域」の教育環境を整えるPTA活動の在り方の2つの視点から考えていきました。

第5分科会

広報・地域連携

【つながり】

第5分科会では「家庭・学校・地域・行政とのつながりを深めるPTA活動」を①PTAの魅力を伝え、地域等とつながる広報の在り方 ②地域等と連携・協働するPTA活動の在り方から考えました。グループ討議を行い、提言校の実際の取り組みをお話しただいた上で、指導助言をいただきました。なぜ家庭、学校、地域、行

政の連携が必要なので

でしょうか。それは子供たちの成長にむけて、それぞれの強みを生かし協力することによりしっかりと子供たちを支えていくことができるからです。子供のために大人の学びを深め実践していくのがPTAであつてほしいと思います。大人の学びは、結果として子供の成長を支えることとなります。また地域とのつながりが、子どもの故郷への思いを育てていくことへとつながります。

特別分科会 今日的话题

【ホンマでっかーPTA】

特別分科会では「PTA改革を真正面から考える」

全体会

を討議しました。①現在の社会状況におけるPTAの課題、②様々な意見があることを理解し、お互いを尊重するPTAの在り方の二つの視点から皆で考えました。会場の意見もITを活用し、瞬時に見える化して共有することでお互いの考えを共有することができました。



記念講演

強く生きるためのヒント
野々村友紀子が伝えたい
人生で大事なこと



野々村友紀子
オフィシャルサイト

記念講演では放送作家の野々村友紀子さんをお迎えし、著書「強く生きていくために」あなたに伝えたいこと」からたくさんの言葉と想いを伝えていただきました。

「時には逃げてもいい。そこで得るものもある」
「そんなにいつも、自分にスポットライトは当たっていない」
「考えるな。寝ろ！」
「欠けている部分が人間の面白み」
「口角下げるな、頭下げろ」
「『行ってらっしゃい』と『おかえり』が世の中を明るくする」
「母はハハハ、家庭の太陽」
「たくさん言葉の中には、ハツとするもの、そうだよ、ね」と納得するもの、いろいろな言葉がありました。

これらの言葉は野々村さんがお子さんに伝えたい想いを綴ったもの。野々村さんの幸せになるための三カ条、


- ①他人と比べない
- ②不幸を手放す
- ③小さな幸せを見つけるとともに子供たちと改めて話してみたいなあと感じました。講演会後には著書の販売、サイン会もあり長蛇の列！機会があれば皆さんもぜひ、九州PTA大会に参加してみられませんか？



アトラクションは龍踊。迫力たっぷりでした！

令和7年度 各種研修会

第73回 日本PTA全国研究大会
第81回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会



石川大会

8/22~23

がんばろう! ともに
能登♥石川

祝! 長崎大会



UP! PTA!
これからの未来を創るPTA

第70回
日本PTA九州ブロック研究大会

福岡市大会

大会1日目 分科会 大会2日目 全体会

10.18(土) 10.19(日)

福岡市内4会場 マリンメッセ福岡A館

参加費/九州ブロックPTA関係者(約6,000人) 参加費/5,000円/人
主催/九州ブロックPTA協議会 主幹/福岡市PTA協議会

The 51st
Kumamoto
Prefecture
PTA Research Conference



in Amakusa

第51回熊本県PTA研究大会あまくさ大会

つなごう 未来への架け橋
~見つけよう! 始めよう! 覚えよう! PTAだから、できること~

2025年11月8日(土)

■主催: 熊本県PTA連合会 ■主幹: 天草PTA連合会



[https://zenkokutaik
ai73.ishikawa-
pta.jp/](https://zenkokutaik
ai73.ishikawa-
pta.jp/)



[https://www.f
ukuokacity-
pta.jp/pta-
kyushu-block-
2025/](https://www.f
ukuokacity-
pta.jp/pta-
kyushu-block-
2025/)



[https://pta.amakusa-
web.jp/Calendar/Pub
/Shosai.aspx?AUNo=
92&Tgstr=&YrMn=20
2411&CINo=3863](https://pta.amakusa-
web.jp/Calendar/Pub
/Shosai.aspx?AUNo=
92&Tgstr=&YrMn=20
2411&CINo=3863)



令和7年度

県P大会は 11/8 天草で 九P大会は 10/18・19 福岡市で 日P大会は 8/22・23 石川県で行われます。会員の皆様にはぜひ参加いただき、たくさんの学びを地元地域での活動に生かしていただければと思います。PTA活動とは先生方と保護者とで子どもたちを守り育てていくためのチームです。たくさんの方に積極的に参加いただき「希望の登校・満足の下校」を見守り続けていけることを願っています。

各大会の申込は、時期がきましたら郡Pの方から各単Pへとお知らせいたします。

令和7年度主な事業

- | | |
|---|--|
| 5/10 球磨郡PTA連絡協議会
定期総会・懇親会 (ポッポ一館・彦六) | 9/ 県P大会会場視察・打合せ |
| 6/6 人吉市PTA連絡協議会定期総会 | 10/ 県P家庭部会研修会 |
| 6/7 熊本県PTA連合会
定期総会・情報交換会 | 10/ 人吉球磨小中学校長PTA会長
合同研修会 |
| 7/ 県P理事・事務局長合同研修会 | 10/18 第70回日本PTA
~19 九州ブロック研究大会福岡市大会 |
| 7/ 人吉球磨人権教育研究協議会
研究大会 | 11/ 8 第51回熊本県PTA研究大会天草大会 |
| 8/22 第73回日本PTA全国研究大会
~23 石川大会 | 2/ 令和7年度単位PTAリーダー研修会 |
| 9/ 県P教育懇談会 | 3/ 県P理事・事務局長合同研修会 |
| | 5/9 球磨郡PTA連絡協議会
定期総会・懇親会 |

他、郡P役員会・理事会、県P理事会等にも参加しています。

太字の研修会は一般会員様へもご案内していますので皆様奮ってご参加ください!



募集中!!

郡P広報紙では皆さんからの情報提供をお待ちしています。各学校の取り組みや〇〇周年行事、また、頑張っている子供たちの姿や地域との関わりなどなど。皆さんの身の回りの素敵な出来事をシェアしてください。

いただいた情報をもとに、もっと球磨郡が、PTAが好きになるそんな広報紙を目指します。



応募はこちらから
<https://forms.gle/bKzrhcRWVwMnk-1xq9>

編集後記

少しずつ暖かい日も増え、春の足音も聞こえてきた今日この頃。各PTAではこの時期、役員改選に向けて選考委員会等、行われているところではないでしょうか。とはいえ、「PTAってどんなところ?」という方も多いのが実際だと思います。今回は9年にわたりあさぎり町で会長、副会長を経験された郡Pの副会長も2年務めていただいた、九州PTA大会での表彰者、福島さんにPTAについていくつかお尋ねしてみました。

① PTA役員になったきっかけは?
 子供が保育園の時から役員をやっている、小学校でも役員の活動に興味があったので。

② 役員として学校やPTAにどんな想いがありますか?
 楽しませていただきました。

③ 長年の活動を通して「頑張った!」と言えることってどういうことでしたか?
 やれることをやってきた状態なので特に頑張ったと言えることはないかな。

④ 次世代のPTA役員さんたちに託したいものを教えてください。
 PTA活動を、大変だ、面倒くさい、関わりたくないなどの思いが強い方達をどうやったら動かせるか、ズーッと続けている課題だと思います。

⑤ ご自身のPTA活動を振り返ってみてどうですか?
 いろいろな方との出会いに感謝、研修や講演に参加することで学びはありがたかったです。自分では思いもよらないような考え方や出会ったり、自分を見直し変わるきっかけを与えられたりしました。見識が広がったんだと思います。

自分自身の経験値の底上げにも繋がります。たくさんの方に会えるPTA活動。この春あなたもチャレンジしてみませんか?



～熊本県内の放課後子供教室及び学校支援活動等の多様な地域学校協働活動に関わる皆さまへ～



体験活動ボランティアチームを活用しませんか

熊本県教育委員会では、子供たちに豊かな体験活動を提供して下さる大学生、企業、地域の皆様によるボランティアチームを編成し、県内の小・中・義務教育学校において、体験活動や交流活動を行っています。
 (体験活動の例) 絵画、工作、実験、音楽、演劇、落語、手品、英会話、スポーツ、料理、読み聞かせ、そろばん、野外活動など

令和5年度は、**20チーム・121名**のボランティア登録があり、

56回・74人を派遣しました。

【活用した方々の感想】

- ・空気砲や静電気、竹とんぼなど、理科の学習に関わることを体験することができた。親子での体験もでき、子供同士、親同士の親睦が深まった。
- ・楽器の演奏だけでなく、たくさんレクリエーションも用意されていた。サポーターの先生も全員が参加し、最初から最後まで笑いっぱなしの楽しい時間だった。
- ・児童の意欲を喚起される語りかけや説明の仕方をなされ、大変わかりやすかった。「もっと作りたかった。」や「来年も来てほしい。」との感想が聞かれた。
- ・児童に対し読み聞かせを実施していただいた。児童たちは、普段は主にスポーツ活動をする機会が多いため、新鮮な読み聞かせに楽しく参加できていた。



おもしろ不思議な科学体験教室!による科学実験



市立図書館お話しボランティアなどでこによる読み聞かせ



バルーンアートの熊おじさんによるバルーン制作



あそBe隊による楽器演奏

市町村の担当者や地域学校協働活動推進員の方から、下記へ申込みください。
 問い合わせ・申込先は、熊本県教育庁市町村教育局社会教育課 担当:池端
 電話:096-333-2698 FAX:096-387-0089 メール:ikebata-k@pref.kumamoto.lg.jp
 詳しくは、ホームページにアクセス!
<https://www.pref.kumamoto.jp/site/kyouiku/list186-582.html> (体験活動ボランティア派遣事業)



体験は子供を豊かに、そして...、たくましくする!!